

活動報告

2017年9月1日付号
左京南部版

日本共産党
前市会議員

とがし豊

皆様のご意見をお寄せください！発行・日本共産党京都左京地区委員会 電話・761-6341(自宅TEL771-7847)



日誌

【8月】2日戦争法廃止を求める左京の会幹事会／3日京都市美術館問題を考える会／5日消防団防火パトロール／6日原爆犠牲者追悼法要@檀王法林寺、京都市消防団分団長・副分団長教育@京都市消防学校／8日世界遺産下鴨神社と糺の森問題を考える市民の会・京都市への申し入れ／16日大文字五山の送り火警備／19日錦林学童夏レクリエーション@花脊山の家、岡崎公園と疏水を考える会世話人会／20日岡崎徳成町弁天祭、消防団パトロール／21日岡崎公園と疏水を考える会の京都市申し入れに同行／23日党松ヶ崎支部歓迎会／24日京都市美術館再整備工事説明会／25日下鴨地域町内会役員さんと土木事務所へ申し入れ／26日だん王夏祭り子ども地蔵盆／27日吉田コミュニティサマーコンサート、党演説会@円山音楽堂／29日世界遺産下鴨神社と糺の森問題を考える市民の会／31日北泉橋いらない！住民訴訟第2回公判@京都地裁

吉田コミュニティサマーコンサート



井上さとし参院議員(右上)と参加。安保法制廃止の運動でも頑張る高山佳奈京大大学院教授も加わる ppm2.5 も出演(下写真)されていました。区役所移転問題の運動をきっかけに、吉田地域のまちづくりのために始まったコンサートです。

市民と立憲野党の”共闘”で今こそ政治を変えよう

日本共産党演説会

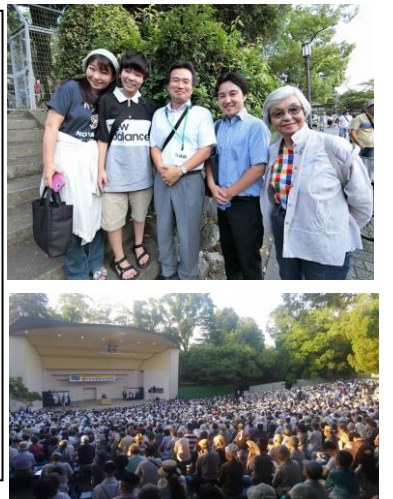
9月24日(日)

午後3時～

錦林小・体育館

野党共闘、展望を語る
円山音楽堂に三〇〇〇人

去る八月二十七日、小池晃書記局長を招いた円山野外音楽堂での日本共産党演説会には、三〇〇〇人の皆さんにお越しいただきました。「違う血液型の血液は輸血できない」と野党共闘を拒んだ民進・野田氏が、幹事長に就任した途端に「握手はできる」と変化したことを示し、誰が民進代表にな



満員の円山音楽堂(下)、開始直前に親子三代で参加した前進座・紫野明日香さんらと一緒に(上)。

っても、変化する。野党共闘以外に道はないという話に、大変納得しました。四野党は立憲主義回復を旗印に共闘し安倍政権に代わる政治を実現すると国民と約束してきました。草の根から野党共闘の機運を高めていくことが大事だと痛感しました。がんばるぞ！

北泉橋いらない！

第二回公判開かれる

去る八月三十一日、京都地裁にて、北泉橋いらない！住民訴訟の

第二回公判があり、住民側は五十八人が傍聴。一九二七年の都市計画決定当時の図面と比較して、現在の架橋・道路拡幅予定地の位置が大幅にずれており、住民側は計画の中止を求めています。これに対し京都市は、決定当時の計画との関係で「起点・終点等が概念的に一致すればズレは許される」旨の主張を書面にて行いました。こんな主張が許されれば、都市計画決定予定地付近の住民の土地が行政の都合で簡単に奪えることになりかねません。裁判長は、当時の都市計画の法制やそれらをどう引き継いできたのか京都市の責任で明らかにするように求め、当時の決定と現在の計画との大きな「ズレ」に関心を示しました。世論の盛り上がりこそが裁判所の英断を引き出す力になるとに確信をもって、私も微力ながら頑張ります。次の公判は十一月二十一日午後一時十五分です。

雑記帳・敬老の精神

京都市が市民新聞をつかって、敬老乗車証の維持にかかるコストと、保育所整備予算を天秤にかける広報を始めました。なんと不謹慎な広報だろうと目を疑いました。高齢者の長年の努力なくして今の世の中はないし、私たちの暮らしはありません。だからこそ「敬老」だったはずで、それに、「子育て」だって、高齢者世代が親世代を多面的に支えてくださっています。「敬老乗車証」制度維持の予算を大幅に削るのが京都市の本音でしょうが、削るべきは北泉橋架橋はじめ数々の税金の無駄遣いでしょう。イベントをするときには「経済波及効果」を天まで持ち上げる京都市ですがどうして敬老乗車証では無視するのでしょうか。他都市の事例から投資の三倍程度の経済効果が見込まれるのに・・・介護保険をめぐっては、「介護予防」をやたら強調し、公園体操を奨励する京都市が、どうして敬老乗車証の介護予防効果を評価しないのでしょうか。とにかく、今回の市民新聞での敬老乗車証の扱いは、陰險かつ不正としか言いようがありません。でも、負けてはいられません。敬老乗車証制度改悪を阻止し、京都市民の敬老精神のすばらしさを子どもたちに伝えたいものです。